



LD等発達障害児・者親の会

「けやき」機関紙

第126号

2022年 3月発行

発行者・代表 廣瀬登士子

けやきホームページ URL [http:// keyakitokyo.web.fc2.com/](http://keyakitokyo.web.fc2.com/)

## 2022 年度総会のご案内



2022（令和4）年度の総会について、お知らせします。

現在の状況では総会を対面開催できるか分かりませんので、昨年に引き続き今年もメーリングリストを利用して執り行います。会員更新手続きと会費支払い、総会議事につきましては、以下の通りといたします。

### （1）会員更新手続き

- ①「会員更新申込書」は、本機関紙第 126 号に同封いたします。郵便での手続きをご希望の方は、必要事項を記入して廣瀬までご返送ください。（郵送料はご負担願います。）また、併せてメーリングリストでも用紙を送付しますので、オンラインでの手続きをご希望の方は、こちらを利用してメール添付で返送してください。会費のお支払いも含め、手続きは 5月末までにお済ませいただくようお願いいたします。
- ②けやきは 3 月末で全国 LD 親の会を退会しますので、今回から「子どもの状況アンケート」はお送りしません。

### （2）会費支払い

- ①最終ページ記載の口座へお振り込みをお願いいたします。（会費：3,000 円）
- ②全国 LD ブックレット第 2 弾を会員価格で購入された方は、上記会費金額にブックレット代金 1,320 円を加えた 4,320 円をお振り込みください。

### （3）総会議事

「2022年度総会議案書」を 4 月上旬にメール添付でお送りします。内容をご確認いただき、ご質問等がございましたらお知らせください。皆様の了解が得られましたら、議事案の可決といたします。

皆様にはお手数をおかけして申し訳ございませんが、ご協力をよろしくお願いいたします。

## けやき年間活動報告

オンライン（ZOOM）での活動が多くなりましたが、10月～12月は対面  
で例会を開催し、久しぶりに皆様と直接

お話できたことは大きな喜びでした。自主グループ「ポーレポーレ」もボランティアの方のお力添えで、主にオンラインで毎月の活動を続けています。

<2021年4月～2022年3月の活動>

|                  |                |                |
|------------------|----------------|----------------|
| 4月11日(日)～18日(日)  | 2021年度総会       | メーリングリスト利用     |
| 4月24日(土)         | 4月例会           | オンライン（ZOOM）    |
| 5月16日(日)         | 東京LD総会         | オンライン（ZOOM）    |
| 5月22日(土)         | 5月例会           | オンライン（ZOOM）    |
| 6月20日(日)         | 6月例会           | オンライン（ZOOM）    |
| 6月26日(土)～27日(日)  | 全国LD総会・公開フォーラム | オンライン（ZOOM）    |
| 7月11日(日)         | 関東・東北ブロック会議    | オンライン（ZOOM）    |
| 7月24日(土)         | 7月例会・機関紙発行     | オンライン（ZOOM）    |
| 8月22日(日)         | 東京LD要望書打ち合わせ   | オンライン（ZOOM）    |
| 8月29日(日)         | 役員会            | オンライン（ZOOM）    |
| 9月26日(日)         | 9月例会           | オンライン（ZOOM）    |
| 10月23日(土)        | 10月例会          | 多摩交流センター       |
| 11月6日(土)         | 東京LD3会合同勉強会    | オンライン（ZOOM）    |
| 11月10日(水)        | 東京都へ要望書送付      |                |
| 11月19日(金)        | 勉強会講師と打ち合わせ    | 電話             |
| 11月28日(日)        | 11月例会          | 多摩交流センター       |
| 12月11日(土)～12日(日) | 日本LD学会         | 会場+オンライン（ZOOM） |
| 12月18日(土)        | 12月例会・機関紙発行    | 多摩交流センター       |
| 1月23日(日)         | 1月例会・勉強会       | オンライン（ZOOM）    |
| 2月20日(日)         | 関東・東北ブロック会議    | オンライン（ZOOM）    |
| 2月26日(土)         | 2月例会           | オンライン（ZOOM）    |
| 3月27日(日)         | 3月例会・機関紙発行     |                |
| 3月31日(木)         | 全国LD退会         |                |

※東京都の要望書回答・意見交換会を1月25日(火)に予定していましたが、  
感染者数が大きく増加したため、延期しています。



## ポーレポーレ活動報告

ポーレポーレの活動は12月に国立の福祉会館にて対面で行われました。およそ二年ぶりの再会でした。みなさんどのような感想をもたれた

でしょうか。1月以降はまた zoom を利用したオンライン集会となりました。オミクロンが猛威を振るうこの時期、残念ですがやむを得ません。当日の様子をメンバーとボランティアの方が以下のようにお知らせくださいました。

### ●2021年 12月13日(日)

参加メンバーは9名(1人は懐かしい旧メンバー)でした。近況報告をしたり、メンバーからお土産をいただいたりしました。

### ●2022年 1月9日(日)

今回は、オンライン活動にメンバー6名の方の参加がありました。今回も、前半は近況を報告し合いました。近況では、年末年始の話、仕事の話、趣味の話(テレビ、映画など)、今年やってみたいこと、雪の話などをしました。後半、みなさんでクイズ活動を2つしました。

小学校で習う2画の漢字10個、3画の漢字24個を当てるものでした。計15分間、考えました。思い出すのが難しくて、面白かったです。

### ●2022年 2月13日(日)

本日は、オンライン活動にメンバー6名の参加がありました。今回も、前半は近況を報告し合いました。近況では、仕事の話、趣味の話(ポケモンなどのゲーム、テレビ番組、野球など)、オリンピックの話などをしました。おすすめの鉄道の番組を、TVerにあることも知りました。後半、みなさんでクイズを2題解きました。

4月以降も、実施の方法(オンラインか対面か)はその都度相談する形をとります。

### ●2022年 3月13日(日)

本日は、オンライン活動に、メンバー5名の参加がありました。今回も、前半は近況を報告し合いました。近況では、仕事の話、趣味の話(鉄道の話、テレビ番組、読書、野球など)などをしました。小田急線のロマンスカーの写真をみんなで共有もしました。

後半、みなさんで「アップアップしりとり」を1題解きました。以前、NHKE テレビ「シャキーン!」でやっていたコーナーをモチーフにしました。みんなで協力して、文字を増やししながら、しりとりをするゲームです。「か」からはじめて、1文字ずつ増やして行って、11文字まで増やせました。

1文字 か 2文字 かき 3文字 きつね …… 11文字 スターバックスコーヒー

頭をたくさん使いましたね。楽しめました。

# 全国 LD 親の会 関東・東北ブロック会議報告

日時：2022年2月20日（日）13：00～16：00

会場：オンライン（ZOOM）

## （1）全国 LD 親の会 今年度の主な活動

- ①第14回総会・公開フォーラム 6月26日（土）～27日（日）
- ②特別支援教育支援員養成ビデオ講座 8月13日（金）～11月8日（月）
- ③第43回全国特別支援教育振興協議会 12月3日（金）
- ④日本 LD 学会第30回大会親の会企画シンポジウム 12月11日（土）

## （2）「発達が気になる子のモヤモヤ子育てヒントブック」

- ①「生活の基礎づくり編」 2021年8月18日 発行
- ②「集団の生活編」 2022年1月14日 発行
- ③ 3巻目は2022年4月以降に発行予定

## （3）関東・東北ブロック理事・評議員選出方法の変更

「評議員2年+理事2年」、もしくは「評議員1年+理事2年」の組み合わせで3案提示された。各会は持ち帰って検討し、メールで理事にどの案を希望するかを連絡する。

## （4）ブロック会議議事録作成のためのレコーディング

ブロックメールで事前に各会の了解を得て、ZOOMのレコーディング機能を利用する。議事録を作成後、担当会は速やかに録音・録画を破棄する。

## （5）各会活動報告

以前に比べ、オンラインを上手に利用している会が増えているようです。開催した講演会の様子を YouTube にアップしているような会もあれば、一方で感染対策を工夫しながら対面を重視している会もあり、コロナ禍の中で、それぞれが自分たちの事情に合った方法で活動を続けている様子がよく分かりました。

けやきからは、①3会合同勉強会（「余暇支援」）、②東京都 SST に関するヒアリング参加、③日本 LD 学会大会企画で発表、④1月勉強会（「親なき後、押さえるべきポイントを考える」）について簡単に報告しました。

## （6）けやき全国 LD 親の会退会

今年度末に全国 LD 親の会を退会しますので、今回が最後の関東・東北ブロック会議出席となりました。会議の終わりに、けやきの出席者2名から退会の挨拶をしました。全国 LD 理事長や他会の皆様からは、けやきのこれまでの貢献に対する感謝と、『同じ発達障害関連の会としてこれからも活動していくのなら、きっとまたどこかでご縁があると信じている』という温かいお言葉を頂戴しました。

（TH）

## 1 月勉強会の感想（抜粋）

日 時：2022年1月23日（日）13：30～15：30

会 場：オンライン（ZOOM）

テーマ：「親なき後、押さえるべきポイントを考える」

講 師：東京都発達障害者支援センターTOSCA 相談支援員 柏木様



講師の柏木様ありがとうございました。資料を事前に読んでいるうちに、これまで頭の中で混とんとしていた事柄が一気に整理されました。そして自立度や関係機関の項目について息子はどうかチェックすることで、漠然とした不安がずいぶん軽くなった気がしました。就労に至っていない息子の場合、将来のお金のことが特に心配なのですが、今できる事として親の老後設計から考えるというお話は目からうろこで、これから夫と話していこうと思います。また、相談例はそのまま息子とは異なる事例であっても、皆さんがいろいろ工夫して自分なりに生きている様子に勇気をもらいました。 (T)

講義を拝聴できましてとても勉強になりました。ありがとうございます。  
私の子どもは、24歳男子で特例子会社に努めています。今は、中ぼつにつながっているのみです。先生のお話をお聞きして多くの人とつながった方が良いとのことで、このことについては以前から気になっていたところです。多くのつながりを持てるように社会的体験や関わりを継続的に維持することと、本人が助けを必要としたときに助けを求められるようにできればと思います。しかしながら、本人は「困っている」ことを「困っている」と自覚していないことがあり、気楽に相談でき親身になって支援していただける理解者が必要だと感じています。また金銭感覚が少しないところが不安なところです。今後は本人と具体的に話し合いたいと思います。 (MT)

ポイントをわかりやすく教えて頂き、とても有益な時間でした。親としては、一生懸命すぎて、子供本人が見えなくなることがあるように思います。そのような中、「そもそも本人がどんな生活を望んでいるのかが重要」というお話しに、どきっとしました。親元にいる時は、どうしても先回り、先回りして整えてしまいがちでした。いくら親が「理想的な生活」を思い描いても、子供はそれ程のものを望んでいないかもしれませぬね。肝に銘じねばと思いました。事例も多数で、最初の事例はうちと似ていて、「本人は行き当たりばったりだが、自分の雑なやり方で何とかやっている。」とのこと。この例の方は50代だそうで、うちはまだ20代。なんだか“未来”が見えたようで、妙な気分でした。

「困った時に困っていると伝えられる」ことや「人の手を借りられる」など、大事なポイントを学ばせて頂きました。とにかく孤立せず、人とつながれば、親亡き後も「なんとかなりそう」です。ありがとうございました。 (A)

親亡き後、押さえるべきポイントについて、具体的な事例を踏まえて、何をすれば良いのか非常に具体的なイメージのわく勉強会でした。特に、自宅に住んでいる息子の1人暮らしに自信がもてない状況の中で、親が自らウィークリーマンションに2カ月住んで、息子を自宅で疑似の1人暮らしにしたことにより、お互いがどうすれば良いのかよくわかったという事例に興味を持ちました。それも、単に子供を放任するのではなく、子供が仕事に行っている時間帯には親が自宅に戻って陰ながら状況を把握されているようでした。親だけの拙い知恵で1人暮らしのことを考えるとなかなか良いアイデアは浮かばないものですが、このように他の方の工夫されていることをお伺いすると、大変参考になりました。(Y)

私のような、よくわからない人間でも、とても分かり易く、今できることを、具体的に教えて頂き、大変勉強になりました。現場を知り抜いた幅広い経験に基づいたお話で、当事者の方々の心の痛みさえ、ありありと伝わってきました。貴重なお話触れる機会となりました。本当にありがとうございました。機会があれば是非また、お話伺いたいです。質問の機会を多く取っていただいたのも、話を深める為にとっても良かったですと思います。(O)

今回の勉強会は、事例を交えながらの内容で理解しやすく、「我が家の場合」に置き換えながら拝聴いたしました。特に、「本人が決めるべきことに、つつい口出してしまう」事例は、そのまま我が家のことでした。本人に決めさせたいが、本人が「分からない」と答えるので、親としても「どう話を進めたらいいの分からない」という状態が長く続いていました。お話の中での、「どんな生活を望んでいるか」では「分からない」と答えることがあるので、「嫌なこと、心配なこと」から聞いていくと良いというアドバイスをぜひ取り入れてみようと思います。

また、現在は、支援機関へ「相談に行く」ということが、何をどう相談したらいいか分からないという不安から、親子共になかなか継続的につながることができていませんが、「確認」のために行くだけでもOKな場所だと伝え、もっと気軽に行けるよう、支援員さんと一緒に計画を立てていきたいと思っています。(MS)

| 本の紹介                  |                             |        |        |
|-----------------------|-----------------------------|--------|--------|
| 書籍名                   | 著者名等                        | 出版社    | 価格(税込) |
| <叱る依存>がとまらない          | 村中直人                        | 紀伊国屋書店 | 1,760円 |
| おとなの発達障害 診断・治療・支援の最前線 | 岩波明/監修<br>小野和哉、林寧、<br>柏淳 ほか | 光文社新書  | 902円   |

## ネットワークかみひこうき研修会（講演会）感想

日 時：2022年1月16日（日） 会場：オンライン（ZOOM）

テーマ：「子どもが20歳になるとき親にはどんな準備が必要なのか」

講 師：又村あおい氏（全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事）

内 容：住まい、障害基礎年金と就労、成年後見人制度

- ・ 住まい：グループホーム、シェアハウスの事例、居住支援付き住宅の事例。
- ・ 障害基礎年金：、年金と継続B型の生活費はマイナスになるという事例。
- ・ 成年後見制度：後見人の報酬の在り方は、現在、専門家会議で検討中である。  
ある程度生活できるのであれば社会福祉協議会の自立支援事業の利用も考える。

具体的で身近な話題を短い時間でまとめて頂き、充実した時間でした。

わが子は40代半ばで、一人生活も充実しているようです。ひと休みしたいと思う反面、今後の不安も横切ります。現状の制度を踏まえながら今一度わが子のニーズを整理し、考えていく必要性を感じました。 (N)

## ◀全国 LD 親の会退会と今後の活動について▶

「けやき」は長い間全国 LD 親の会に所属し、様々な活動を続けて参りました。まだ「LD」や「発達障害」という言葉が世の中に知られる前から、組織として私たちを支えてくださった全国 LD 親の会の皆様、協力しながら活動を進めてきた各地の親の会の皆様、厚いご支援をいただいた関連団体の皆様、そして何よりも我が子だけではなく広く発達障害のある人達のため、労を惜しまずご尽力くださった「けやき」会員の皆様に、心よりお礼を申し上げます。

大変残念なことですが、会員数の減少と高齢化により「けやき」は以前のような活動が難しくなっています。そのため、今年度一杯で全国 LD 親の会を退会する判断をいたしました。皆様には大きなご心配とご迷惑をおかけしますこと、お詫び申し上げます。今後「けやき」は発達障害に係わる東京の会の一つとして、今の自分たちにできることは何かを考えながら、少しずつ進んでいきたいと思っております。

具体的には会員交流を中心に、特に「親なき後」について勉強会等を通して学んでいきます。また、東京都への要望書提出などの渉外活動につきましても、東京 LD 親の会連絡会でご一緒しております「にんじん村」様や「ルピナス」様と話し合い、お互いに無理のない形で継続できればと考えております。

これからの活動についてご質問やご意見などがありましたら、遠慮無くお知らせください。今後もしもけやきの活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 会員更新手続きのお願い

1 ページ目でお知らせしましたように、総会はメールリストを利用します。「会員更新申込書」は郵便かメール添付で返送、会費は下記口座へ振り込みをお願いいたします。

感染状況が読めないため、5月例会を対面で行うかどうかは未定です。できるだけ5月例会を待たずに更新手続きをしていただくようお願いいたします。

### ①会費振込先

振込口座：ゆうちょ銀行 記号：10160 番号：65362611

銀行コード：9900 店名・店番：018（ゼロイチハチ）

預金種目：普通 口座番号：6536261

LD親の会「けやき」（エルディオヤノカイケヤキ）

年会費：3,000円（全国LD冊子購入者は、4,320円）

※振込手数料はご負担ください。

### ②手続き期限：5月31日（火）



## 編集後記

「発達障害」、「知的障害」、「自閉スペクトラム障害」等の名称が変わるとのことです。これは2022年より診断基準であるICD-10及びDSM-5からICD-11に変更されたからだそうです。「障害」という表記がなくなり「〇〇症」になります。

また、2022年4月から18歳以上が成人となります。これは色々な面で確認が必要になるので注意が必要かと思えます。例えば、親が知らないうちに婚姻届けを18歳で提出できます。養子縁組でも親の知らないうちに誰かの養子になってしまいうこともできます。未成年後見人を活用している場合も注意が必要です。様々な契約も親の承諾なしで可能になります。ただし、例外もあり酒・タバコ・公営ギャンブル等は20歳以上となっているようです。

このように色々法律等が変わりその変化に対応しなければなりません。その中で、いかに「助けを求める」ことができるか？ が本人に限らず親も必要だと感じています。これは、「援助希求能力」と言うそうです。「助けて」が言えないことについて調べてみました。最近ニュース等で話題になっているのが「代理ミュンヒハウゼン症候群」で、これは子供を病気にさせて献身的に看病することで自分の心の安定をはかる行為だそうです。親が「助け」を求めることができない例だと思います。助けを求めることにより「偏見」や「恥辱」等を受ける恐ろしさを感じるのかもしれない。 (MT) 参考図書：「助けて」が言えない 松本俊彦著 日本評論社